

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: ネイチャーポジティブ推進担当
 内線: 3150 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P20	自然環境保全推進事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然環境保全推進事業費	
事業期間	昭和45年度～	根拠法令	自然環境保全体法、自然環境保全体条例、ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例			針路	10 豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	13, 15, 17
						分野施策	1001 みどりの保全と創出	SDGsターゲット	13-1, 13-3, 15-1,
1 事業概要 県土の優れた自然環境の保全、条例に基づきふるさとの緑の景観地等に指定されている土地を良好な状態に維持管理するための奨励金を所有者に対し交付する。景観地等について適切な保全・管理を図ることを目的とした施設等の整備・修繕、緑の管理協定更新調査等を行う。 また、緑地保全施策の推進に関して、国に対し要望活動を行う。 ウ ふるさとの緑の景観地管理事業 △2,251千円 エ 九都県市緑化対策事業 △3千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 自然環境保全地域管理事業 2,987千円→2,987千円 イ 関係会議等負担金(公益財団法人日本自然保護協会会費) 15千円→15千円 ウ ふるさとの緑の景観地管理事業 24,975千円→22,724千円 エ 九都県市緑化対策事業 55千円→52千円 (2) 事業計画 ア 自然環境保全地域として指定されている土地の所有者に対し、良好な状態に維持管理するための奨励金を交付(3月)する。 自然環境保全地域奨励金交付対象地 16地区(492.82ha) イ ふるさとの緑の景観地に指定されている土地の所有者に対し、良好な状態に維持管理するための奨励金を交付(3月)する。 ふるさとの緑の景観地奨励金交付対象地 27地区(222.66ha) ウ 首都圏における緑地保全のための課題を調査・検討し国に対して強く要望していく。 (ア) 緑地保全施策に関する国への要望活動(7月) (イ) 首都圏の緑地の保全についての調査・検討(5月～12月) (3) 事業効果 県民との協働により緑地が保全されることで、豊かな自然を次の世代に引き継ぐことができる 【活動指標(アウトプット)】景観地奨励金交付件数・面積700件・222.66ha、緑の管理協定更新調査14地区 自然環境保全地域奨励金交付件数・面積106件・492.82ha 【成果指標(アウトカム)】ふるさと緑の景観地内緑地の維持222.66ha、自然環境保全地域内緑地の維持492.82ha (4) 補正予算の概要 ア 経費節減による減額 △271千円 イ 自然災害等の緊急対応件数が見込みを下回ったことによる減額 △1,309千円 ウ 調査業務委託件数が見込みを下回ったことによる減額 △674千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分)企画費(細目)環境保全対策費 (細節)環境保全対策費 (積算内容)地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,254	繰入金	△2,254					0	25,778
現計額	28,032		25,030					3,002	

事業内訳書

事業名	自然環境保全推進事業費		
単位事業名	ふるさとの緑の景観地管理事業	予算額	△ 2,251千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	△2,251	—	
合計	△2,251	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△300	—	自然災害等の緊急対応件数が見込みを下回ったこと等による減
役務費	△1,277	—	自然災害等の緊急対応件数が見込みを下回ったこと等による減
委託料	△674	—	調査業務委託件数が見込みを下回ったことによる減
合計	△2,251	—	

単位事業名	九都県市緑化対策事業	予算額	△ 3千円
-------	------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	△3	—	
合計	△3	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△3	—	経費節減による減
合計	△3	—	